

令和7年4月15日

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和7年度病害虫発生予察防除情報第1号

茶 クワシロカイガラムシの防除対策について

本虫の第1世代のふ化盛期は、地域によって平年並もしくは平年より遅くなっていますので、下記の点を参考にして適期防除をお願いします。

各圃場における発生状況に注意するとともに、今後の予測は当所のホームページで随時更新しますので参考にしてください。

記

1. 発生状況等

(1) 4月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.4%、発生圃場率は8.3%であった(平年 寄生株率3.0%、発生圃場率30.7%)。

(2) 本虫第1世代のふ化盛期は、下表のとおり東彼杵町太の原で平年並、五島市上大津で平年より遅いと予測される。

表 第1世代のふ化盛期予測日(4月11日時点)

地区名	標高(m)	令和7年	令和6年	令和5年	平年 (過去10か年)
東彼杵町太の原	360	5/14	5/7	5/8	5/15
五島市上大津	77	5/12	5/2	5/1	5/4

注1) 予測日は「有効積算温度則による防除適期予測法(農林技術開発センター茶業研究室)」により、東彼杵町太の原(農林技術開発センター茶業研究室による測定値)、五島市上大津(アメダスデータ)で予測した。なお、4月11日以降の気象データは平年値を用いた。

注2) 今後、気温が高くなるとふ化盛期が早まる可能性があるので注意する。

2. 防除対策

(1) ふ化後の幼虫が1回脱皮してロウ質のカイガラを作りはじめると、薬剤の効果が低下するので、ふ化盛期(50%ふ化卵塊雌率が半数となった日)～ふ化盛期5日後までに防除する。現地でふ化状況を調査している場合は、その調査に基づいて防除時期を判断する。なお、同一地区内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なると、ふ化盛期が前後する場合があるので注意する。

(2) 株内の枝や株元に薬液がかかるように十分量散布する。

(3) 収穫中の園では、収穫終了後に防除を実施する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス

: <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) TEL: 0957-26-0027

